

血液ぶらす

健診にお好きな検査を追加できます

- ◎事前予約は不要です。当日、受付で料金を添えてお申し込み下さい。
- ◎個人情報厳守されますので、事業所には報告されません。
- ◎事業所への結果（総合判定など）にも反映しません。

NEW ●女性ホルモン検査

検査項目：E2、FSH

3,000円(税込)

更年期女性の3~4人に1人に重い更年期症状があらわれます。原因は、加齢に伴う性ホルモン（E2、FSH）のバランスの変化によるものです。
あなたのその症状が、更年期によるものか別の原因によるものか、調べてみませんか？

是非一度は受けていたいただきたい

●アレルギー検査

検査項目：Viewアレルギー39
(詳細は裏面をご参照ください。)

9,200円(税込)

アレルギー疾患の予防は、原因アレルゲンを正確に特定することが重要です。
主要な原因39種類を同時に調べることができます。

●ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

検査項目：ヘリコバクター・ピロリ抗体

1,800円(税込)

胃がんの98%はピロリ菌感染が原因との報告も！新潟県民の約3割の方が感染しています。
(当会調べ)

●胃がんハイリスク(ABC)検診

検査項目：ヘリコバクター・ピロリ抗体、
ペプシノゲン検査

2,600円(税込)

50歳以上の方は、ピロリ菌に加え、胃の老化をみるペプシノゲンを検査し、胃がんの危険度を
確認します。

●肝炎検査(B型・C型)

検査項目：HBs抗原、HCV抗体

2,300円(税込)

肝がんの原因は80%以上が肝炎ウイルスとの報告。肝炎ウイルス(B型・C型)感染の有無を調べます。

●風しん抗体検査

検査項目：風しん抗体価

2,400円(税込)

赤ちゃんの先天性風しん症候群を予防するため、妊娠をお考えの方やそのご家族で、風しん予防接種を
受けたか分からない方。男女ともに約3割の方に抗体がありませんでした。(当会調べ)

●アミノインデックス®検査

検査項目：AICS：胃、肺、大腸、膵臓、
前立腺、乳腺、子宮・卵巣

22,700円(税込)

ご自分の体のがんリスクを知りたい方、チェックしてください。

※空腹時(食後10時間以上)かつ午前中採血限定。薬剤服用した方、妊娠中の方は正確な検査値を求められない場合があります。

の男性

●前立腺検査

検査項目：PSA

2,300円(税込)

50歳以上で前立腺がんが気になる方、トイレの回数が多かったり残尿感のある方。

が異
糖・
常値
の脂
質
の方
に
検査

●糖尿病ハイリスク検査

検査項目：インスリン、
インスリン抵抗指数(HOMA-R)

1,500円(税込)

肥満、運動不足の方、血糖値が気になる方、脂質異常症のある方、ご家族が糖尿病の方。
※空腹時(食後10時間以上)限定

●心臓病リスクマーカー検査

検査項目：NT-proBNP

1,700円(税込)

胸痛、動悸、息切れのある方、高血圧、高血糖、脂質異常で心臓が気になる方。

(男性も検査可能です)

●関節リウマチ検査

検査項目：抗CCP抗体

2,300円(税込)

手のこわばりや、関節が動かしにくい、関節の腫れ、痛みがある方。

●甲状腺ホルモン検査

検査項目：TSH

1,100円(税込)

疲れやすい、イライラ、無気力・脱力感などの症状のある方。前頸部の腫れや顔・手のむくみのある方。

●血清フェリチン検査

検査項目：血清フェリチン

1,300円(税込)

通常の定期健診にはない超早期の貧血検査です。貧血検査が正常で、血清フェリチンが低い方は、
早期の鉄欠乏性貧血(隠れ貧血)です。



● 女性ホルモン検査

体調がすぐれないとお悩みの方、ホルモンバランスが崩れているのかもしれません。

閉経をはさんだ前後10年間を更年期といいます。卵巣機能が衰えるとエストロゲン（E2）が減少し、卵胞刺激ホルモン（FSH）が上昇します。そのため、ホルモンバランスが崩れ、更年期症状があらわれてきます。更年期女性の3～4人に1人が、日常生活に支障をきたすほどの症状がでます。**女性ホルモン検査に異常があり、症状の重い方は、婦人科に相談してください。**

● アレルギー検査

検査項目：Viewアレルギー39；室内塵（ヤケヒョウダニ、ハウスダスト）、動物・昆虫（ネコ、イヌ、ガ、ゴキブリ）、樹木・雑草花粉（スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカンバ、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、ヨモギ）、カビその他（アルテルナリア、アスペルギルス、カンジダ、マラセチア、ラテックス）、食品（卵白、オボムコイド、牛乳、コムギ、ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米、エビ、カニ、キウイ、リンゴ、バナナ、マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉、豚肉）

● ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

ピロリ菌は、主に幼少期に感染し、慢性胃炎、胃潰瘍、胃がんなどを引き起こすおそれのあることが明らかになっています。

● 胃がんハイリスク（ABC）検診

ピロリ菌に感染しているかどうかと、胃粘膜の萎縮の程度を検査して、胃がんのなりやすさを4段階に分けて評価します。

● 肝炎検査（B型・C型）

肝炎の原因となるB型・C型肝炎ウイルスに感染しているか調べます。肝炎になると肝硬変、肝がんに行進することがあります。

● 風しん抗体検査

風しんは、ウイルスにより、発熱、発疹を起こします。ワクチン接種が効果的ですが、ワクチン接種していない年代での発症が増えています。

● アミノインデックス®検査

がんになるリスク（危険度）をランクA～Cの3つに分けて評価します。B・C判定の方は、一般の方より、がんの危険性が高いため、早期のがん検診の受診をおすすめします。

● 前立腺検査

前立腺にのみ存在するPSAは、前立腺がんの主要なマーカーとして利用されています。

● 糖尿病ハイリスク検査

血糖を下げる作用のあるインスリン量を検査します。また、インスリンは出ているが効きが悪いことをインスリン抵抗性があるといいます。こちらにも検査いたします。

● 心臓病リスクマーカー検査

心臓の働きが悪くなって、心臓に負荷がかかると生成され、心臓の重症度に応じて値が上昇します。心不全になる危険性の予測ができます。

● 関節リウマチ検査

抗CCP抗体は、関節リウマチに特異的な物質で早期から陽性になるため、早期診断が可能です。また、現在症状がなくても、将来関節リウマチを発症する可能性が高いと言われています。

● 甲状腺ホルモン検査

甲状腺には、甲状腺ホルモンを作り、代謝を正常に保つ大切な働きがあります。甲状腺ホルモンが多くなったり、少なくなったりすると様々なつらい症状が現れます。

● 血清フェリチン検査

血清フェリチンは鉄を蓄えることができ、貯蔵鉄ともいわれています。低い場合は、体内での鉄が不足していますので、貧血の原因となります。